



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 150 号

R6.3.1

文責 中西 勉



### 温かさに包まれた「6年生を送る会」

本日、3・4時間目に、「6年生を送る会」を行いました。全校児童が一堂に会しての開催は4年ぶりでしたが、全員がそろったことで、会は昨年以上に盛り上がりを見せました。

5年生が、この会の中心となって企画・運営を進めましたが、その見事な活躍は、6年生から男川小のリーダーのバトンを受け継ぐのにふさわしいものでした。そして、6年生は、後輩



▲3年生の出し物に笑みがこぼれる6年生

たちからの感謝と祝福を受け、男川小での6年間の学校生活を振り返りながら、喜びや感動を改めて味わい、同時に自分たちの確かな成長を感じたことでしょう。温かさに包まれた「6年生を送る会」は、男川っ子や先生たち全ての人の心に素敵な思い出として刻まれたに違いありません。



### 小学校生活最後の「もこもこさん」による読み聞かせ

今週2月28日(水)、「もこもこさん」が6年生に向けて小学校生活最後の読み聞かせを行っていただきました。英語での読み聞かせやペープサートを用いた表現、プロジェクターを活用した絵の見せ方など、多彩な工夫をしてくださったお陰で、読み聞かせの20分間があつという間に感じられました。

今回読んでくださった本の中に、「おおきくなったらきみはなんになる？」(文：藤本ともひこ 絵：村上康成)という一冊がありました。その一節に、次のような文章があります。

おおきくなったら、きみはなんになる？  
なりたいものは、きっと、いっぱいあって、みんなちがう。  
いろんなことをやっているうちに、すきなものを、みつけることがある。  
だれかがむりだって、いうかもしれない。  
でも、そんなのかんげいない。  
きみがやりたいことは、きみがきめるんだ。  
きみがやりたいことを、きみがやるんだ。



卒業を目前に控えた6年生にとって、作者のこの言葉は、とても力強く背中を押してくれるものになったと思います。6年生の子供たちには、自分の可能性を信じ、自分の目標に向かって着実に歩みを進めてほしいと心から願っています。

最後に6年生の代表児童が、これまで読み聞かせをしてくださったことに対する感謝と、今後も男川っ子への読み聞かせを続けてほしいという願いを述べました。「もこもこさん」には、26年の長きに渡って読み聞かせを続けていただいておりますが、男川っ子の心を優しく豊かにするために、今後も楽しい読み聞かせをしていただけると幸いです。



▲読み聞かせに集中する6年生